

コロナ渦で変わる産学連携 企業×大学×高校がオンラインで新規事業を考案

コロナ禍では、大学の授業がオンラインに切り替わり、思うように産学連携やフィールドワークなどの活動が出来ない状況が続いてきました。阪南大学（学長：田上博司）では、株式会社 ECC（代表：山口勝美）と大阪高等学校（校長：岩本信久）と連携し、経営情報学部の学生が中心となって、オンラインによる産学連携講座を運営しています。

株式会社 ECC の新規事業として、外国人への日本語教育の新サービスとして気軽に学べる環境作りに取り組んでいます。誰でも簡単に日本語を教え、日本語教育が受けられる、グローバルな事業モデルやシステムを開発中です。そうした新規事業開発に大学生と高校生が参加しています。

【概要】

■日時

11月18日：キックオフ、25日：合同ディスカッション、12月2日：プレゼン大会

■参加者

株式会社 ECC、大阪高等学校の生徒約 20 名

阪南大学「経営情報特別講義」受講者及び運営者約 40 名

■内容

オンラインにてディスカッションやプレゼンテーション、ミーティングを実施

■経緯

阪南大学「経営情報特別講義」では、これまでも様々な企業と連携したセミナーの開催・学生主体のプロジェクトチームの開設など実践的な授業を行ってきた。

今回、兼ねてよりお付き合いのある株式会社 ECC が新規事業を始めるにあたり、連携させていただくこととなった。さらに企業との関わりが少ない高校生が 11 月より加入し、事業開発に取り組んでいる。

これまでの日本語教育サービスは、日本語講師が少ないこと、料金が高額であることから、より簡単に日本語教育ができるよう、このプロジェクトが生まれた。

【本件に関するお問い合わせ先】

阪南大学 総務企画課 担当：小原（オハラ）

電話：072-332-1224（代） FAX：072-336-2633 e-mail：koho@hannan-u.ac.jp